

機械器具12 理学診療用器具
一般医療機器 弾性ストッキング 31724000

ケアバリックス

【警告】

1. 適用対象(患者)

- (1)急性期の深部静脈血栓症の患者。[肺血栓塞栓症を起こすおそれがあるため。]
- (2)動脈血行障害、うっ血性心不全及び装着部位に炎症性疾患、化膿性疾患、創傷のある患者。[圧迫により症状が悪化するおそれがあるため。]
- (3)急性循環不全等、末梢循環が不安定な患者。[血流量低下により壊死が起こるおそれがあるため。]
- (4)糖尿病患者。[無症状の知覚障害や血行障害を併発している場合、痛み等の異常を認識できず、また、症状を悪化させるおそれがあるため。]
- (5)装着部位に知覚・神経障害のある患者。[痛みや血行障害を起こしても認識できないおそれがあるため。]
- (6)装着部位に極度の変形を有する患者。[適切な圧迫力が得られないおそれがあるため。]
- (7)繊維に対して過敏症のある患者。[接触性皮膚炎を起こすおそれがあるため。]

2. 使用方法

医師が必要と認める場合を除き就寝時は着用しないこと。[臥位になることで静脈還流等に変化が起こり、患者によっては必要以上の圧迫力がかかるおそれがあるため。]

【禁忌・禁止】

適用対象(患者)

- (1)重度の血行障害、うっ血性心不全及び有痛性青股腫の患者。[圧迫により症状を悪化させる危険性が高いため。]
- (2)化膿性静脈炎の患者。[菌血症や敗血症を発症、増悪させるおそれがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

1. 種類・規格

アイテム	タイプ	トゥ形状	圧迫力		
			足首	ふくらはぎ	太腿中央
薄手	ハイソックス	クローズ	32hPa (24mmHg)	21hPa (16mmHg)	13hPa (10mmHg)
		オープン			
	ロングストッキング	クローズ			
		オープン			
厚手	ハイソックス	クローズ	36hPa (27mmHg)	24hPa (18mmHg)	17hPa (13mmHg)
		オープン			
	ロングストッキング	クローズ			
		オープン			
メンズ	ハイソックス	クローズ	31hPa (23mmHg)	24hPa (18mmHg)	
		オープン			

トゥ形状: オープンはトゥ(つま先部)がない形状、クローズはトゥがある形状のこと。

2. タイプ別形状例

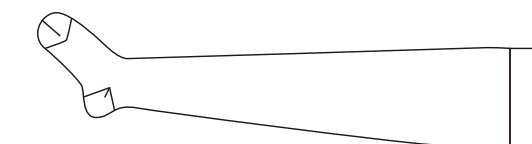
①ハイソックス(クローズ)



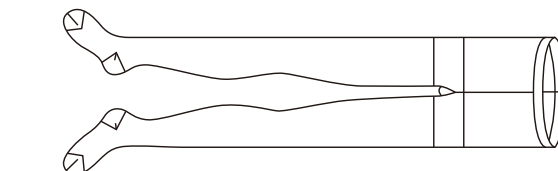
②ハイソックス(オープン)



③ロングストッキング(クローズ)



④パンティーストッキング(クローズ)



3. 原材料

ナイロン、ポリウレタン、シリコーン

【使用目的又は効果】

本品は、下肢の静脈血、リンパ液のうっ滞を軽減又は予防する等、静脈還流の促進を目的に使用される医療用の弾性ストッキングである。末梢から中枢に向かい漸減的に圧迫を加える機能を有する。

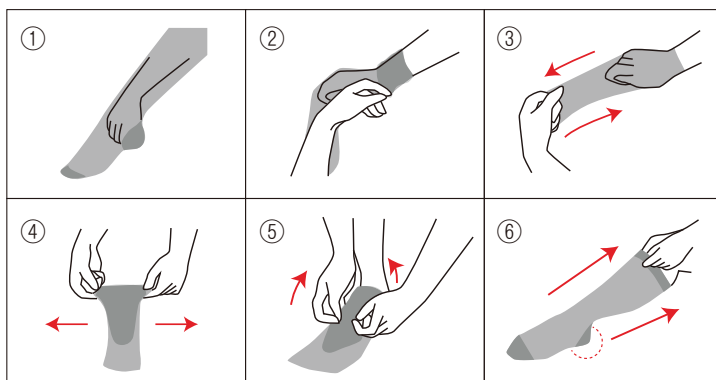
【使用方法等】

1. 装着前(サイズ選定)

- ① アイテム、タイプ等を選択する。
- ② 足首の太さ(最も細い部分)を測定し、参考サイズ表をもとにサイズを選択する。足首のサイズが2サイズにまたがる場合、ふくらはぎのサイズを確認し選択する。更にふくらはぎのサイズが2サイズにまたがる場合は、足首のサイズが中心値に近いサイズを選択する。

2. 履き方

- ① ストッキングの中に手を入れ、かかと部分の内側から軽くつまむ。
- ② かかとをつまんだまま裏返し、ひっくり返す。
- ③ つまんだかかと部分の手前まで裏返す。
- ④ つまんだ手を離し、入口を広げる。
- ⑤ つま先から挿入し、かかとの方へ履いていく。
- ⑥ かかとをストッキングのかかと部分に正確に合わせ、シワや重なりができないようゆっくり引き上げる。



3. 脱ぎ方

- ① ストッキングをかたまりにしないで少しずつ脱ぐと脱ぎやすくなる。
- ② かかとの部分では裏返しのまま伸ばし、丁寧に少しずつ引っ張る。

4. 参考サイズ表

薄手・厚手		単位:cm			
	S	M	L	LL	
足首	17.0~21.0	19.0~23.0	21.0~25.0	23.0~27.0	
ふくらはぎ	28.0~34.0	32.0~38.0	36.0~42.0	40.0~46.0	
太腿	42.0~50.0	48.0~56.0	54.0~62.0	60.0~68.0	
足のサイズ	23.0以下	24.0以下	25.0以下	26.0以下	

メンズ		単位:cm		
	S	M	L	
足首	17.0~21.0	19.0~23.0	21.0~25.0	
ふくらはぎ	28.0~34.0	32.0~38.0	36.0~42.0	
足のサイズ	25.0以下	25.0~27.0	27.0以上	

【使用上の注意】

1. 使用注意(次の患者には慎重に適用すること)
 - (1)術後等患者の意識レベルが低い場合及び患者との意思疎通が困難な場合には、患者の状態をよく観察して使用すること。[動脈および静脈の血行障害又は神経障害等を発症した際に、発見が遅れる可能性があるため]
 - (2)ギプス、外傷等により装着部位が長時間不動状態にあった患者は注意すること。[潜在的に深部静脈血栓症を発症している可能性があるため]
 - (3)本品の使用により、脚に疼痛、しびれ、皮膚や爪の変色、皮膚温の低下、発赤、かゆみ、発疹、かぶれ等の異常及びその他装着前に感じなかった不快感、違和感が生じた場合は、直ちに使用を中止すること。[動脈および静脈の血行障害又は神経障害等を発症するおそれがある。]
2. 重要な基本的注意
 - (1)正しい圧迫力を得るため、装着部位の規定箇所を必ず計測し、正しいサイズの本品を選択すること。又、サイズ適応外の場合には使用しないこと。[血行障害又は神経障害等を発症するおそれがある。]
 - (2)本品を折り返して使用しないこと。[血行障害又は神経障害等を発症するおそれがある。]
 - (3)圧迫力の過不足を防ぐため、たるみやシワのないように装着すること。また本品が装着中にたるんだり、シワが寄ったり、ずれ落ちたり、誤った位置に装着されている際は必ず手順の始めから正しく装着しなおすこと。[適正な圧迫力が得られずまた血行障害や神経障害及び圧迫性潰瘍を引き起こすおそれがある。]
 - (4)腫脹の軽減等により装着中に各部位の周径が変わった場合は、適切なサイズに変更すること。
 - (5)本品に破損(伝線、ほつれ、破れ等)がないことを確認してから装着すること。破損がある場合は適正な圧迫力が得られないため使用しないこと。
 - (6)本品は繊維製品のため、次のような場合には破損(伝線、ほつれ、破れ等)するおそれがあるので注意すること。
 - ① 少しずつ引き上げず、強く引っ張り上げて装着した場合
 - ② 爪が伸びていたり、反っていたりする足へ装着した場合
 - ③ 肌荒れした手や伸びた指の爪で取り扱った場合
 - ④ 鋭利なものに接触した場合
 - (7)本品をはさみで切るなどの加工、修理を行わないこと。

- (8)本品は、弾性ストッキングに精通した医師が、必ず患者に使用方法を説明し、正しい装着手順で使用を開始すること。また患者との意思疎通が困難な場合には、看護、介護介添する者に使用方法を説明すること。
- (9)間欠的空気圧迫装置等、他の圧迫療法と併用する場合には、本品単独装着時よりも高い圧迫力が加わったり、装着位置がずれることがあるため、適宜本品及び皮膚の状態を確認すること。
- (10)軟膏等の薬品や油脂、溶剤等が付着すると繊維が劣化するので付着しないよう注意すること。
- (11)本品は個人用の製品であり、他の患者に使い回しはしないこと。
- (12)弾性ストッキングに精通した術者の指導がない限り、本品を他のストッキングや靴下等と重ねて装着しないこと。

3. 不具合・有害事象

本品の使用により、以下の有害事象がおこる可能性がある。

- 1) 重大な有害事象
 - (1)血行障害
チアノーゼ、腫脹、疼痛、しびれ、皮膚の冷感等、血行障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
 - (2)神経障害
腓骨神経麻痺等の神経障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
 - (3)皮膚障害
 - ①本品のずれ、圧迫等により皮膚潰瘍等の皮膚障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
 - ②ショック等、末梢循環が不安定な患者に使用した場合、装着部位に血行障害が発生し壊疽などの皮膚障害が起こる可能性があるため、装着部位の血流に注意すること。
- 2)その他の有害事象
本品の装着部位に発赤、水疱、かゆみ、発疹、かぶれ等の皮膚障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。本品を脱いだ後で皮膚障害が現れる場合もあるので、同様に適切な処置を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
室温下で、水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
2. 有効期間
パッケージに表示[自己認証(自社データ)による]。

【保守・点検に係る事項】

- 洗濯をして繰り返し使用できる。洗濯の際は次のことに注意すること。
- ① 家庭用洗剤で手洗いすること。洗濯機を使用する際は必ずネットに入れて洗濯すること。
 - ② ドライクリーニング、塩素系漂白剤、柔軟剤は絶対に使用しないこと。
 - ③ 他の色物とは分けて洗うこと。
 - ④ タオル等につつま水気を取った後、風通しのよい場所で陰干しすること。
 - ⑤ 脱水機・乾燥機・アイロン・電子レンジなどでの強制乾燥は、生地が劣化し、弾力性が失われるので絶対に使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社秋山製作所
電話番号 03-3811-0802
製造業者 東光株式会社

【お問い合わせ先】

Akiyama 株式会社 **秋山製作所**
電話番号 東京営業所:03-3811-0804
大阪営業所:06-6920-0802